

## Ⅳ 全員で取り組む同和問題学習

### (1) ねらい

(1) 同和問題学習について意味やあり方を論じることが目的ではない。その必要性を自覚し日々の実践の中心に据えるべきであると考えた私達の極めて具体的な実践の報告である。既に述べた様に来年度県中学校同和問題研究大会が本校でもたれることになった。

今までの私達の同和教育を振り返ったとき率直な反省がある。「板野中学校に勤めて同和問題学習への取組みが不十分なようでは困る。私達は教師としてどこへだしても通用する授業を作り上げて欲しい。」というのが漆原校長先生の口癖であった。同和主事を中心とした学習会への積極的な取組みや地域へ入っての働きかけ、解放文化展への意欲的な取組みなど同和問題に対する取組みは全校的なものとして精力的に進められている。しかし、ひるがえって一担任として同和問題への取組みについて考えた場合クラスや学年を基盤とした教壇実践において多くの不十分な点がある。私達は担任としてまず授業を作り上げていくことを何よりも優先させるべきである。「授業さえしていない」「授業もできない」ということがあってはならない。私達5人の担任は同和問題にかけける思いは変わりはないが現実の問題としての取組みについては差があることを認めざるを得なかった。まず私達の共通の取組みを作り上げていくこと、レベルーという言葉を使ってよければーをそろえることこそが当面の具体的目標であった。

また、生徒についていえば同和問題に対する意識は大きな差が見られる。これもまた同じレベルにまで引上げみんなが共通の基盤にたつて同和問題について語り、解消へ向けての実践力をつけるものでなければならない。

「同和問題は命にかかわる問題である。」「同和問題学習は人間としての生き方を問うものである。」という共通認識のもと生徒と教師が共に手をたずさえて取り組む同和問題学習を実践していく事こそが重要である。

(2) 私達が自分の考えや思いを伝えるには書くか話すしか方法がない。上手にしゃべる必要はないが一对一であれば話すことのできる子も大勢の前で話すことは不得手なことが多く、話合いが成立しないことが多い。学習の基本は話合い活動が成立することである。これは何も同和問題学習に限ったことではない。すべての学習活動にいえる。大勢を前にして話合い活動を成立させえるためには訓練が必要でありこれについては、羽浦中学校における実践研究がある。

以上述べたことを要約すれば、私たちは同和問題学習における私達自身の授業の問題と生徒の変革、授業における話合い活動の成立という3つの願い(目標)を持ってスタートした。どれも一朝一夕にいくはずもないがともかく実行して見る、そ

の中から不都合があれば軌道修正すればよいわけである。

## （２）方法

（１） 羽浦中学校のオリエンテーションの形式を参考にし全員で考える同和問題学習を展開した。題材は次のとおりである。なお、この授業の形態を学年公開授業と呼ぶことにした。

- |               |          |
|---------------|----------|
| 1 学期… 渋染一揆    | 2 B 森口教諭 |
| 夕焼けが美しい       | 2 C 仁木教諭 |
| 2 学期… ミナコ逃げるな | 2 A 佐野教諭 |
| 私の目を見て        | 2 D 西野教諭 |
| 3 学期… 人間に光あれ  | 2 E 阿部教諭 |

## （２）学年公開授業の形式と展開

① 各クラスにおいて次の学年公開授業において使用される資料を用いて学習を深める。その際の指導案については学年公開授業者が作成したものを使用することを原則とする。（なお、資料については学年教師全員で読み合わせをし、指導案の作成については授業者が中心になって作成するが全員の創意を集めたもの作り上げるようにした。）

② 示範学級（あるいは実験学級と言い替えてもよい）は体育館において授業を受ける。その授業を他の２年生全員が参観する。

③ 授業の終わった後で、授業者が替わり参観した全生徒にたいし意見を求めていく。学年全体が一つの授業を受けるわけである。従って学年公開授業は２時間続きで行われる。

＊ 授業に出された意見や考えに対する自分の感想や思いを発表し同和問題に対する内容を一層深める。いわば示範のクラスの授業を一つのタタキ台にして２年生全体で同和問題についての授業を受けることになる。

＊ 授業態度、発言、姿勢など形式的な面についての感想を発表しあい、それによって話し合い活動におけるよりよい形を求めようとする。

④ 授業をビデオに取り示範学級は次の学活または道徳の授業のときに視聴すると同時に授業者は授業記録を取り自己研修に当てる。

⑤ 資料に対する考え、学年公開授業によって自分の意見が変わった点など資料授業を通してのまとめとしての自分の思いを綴り一資料についての学習を終える。

⑥ 学年公開授業の形態は次のページのようにした。

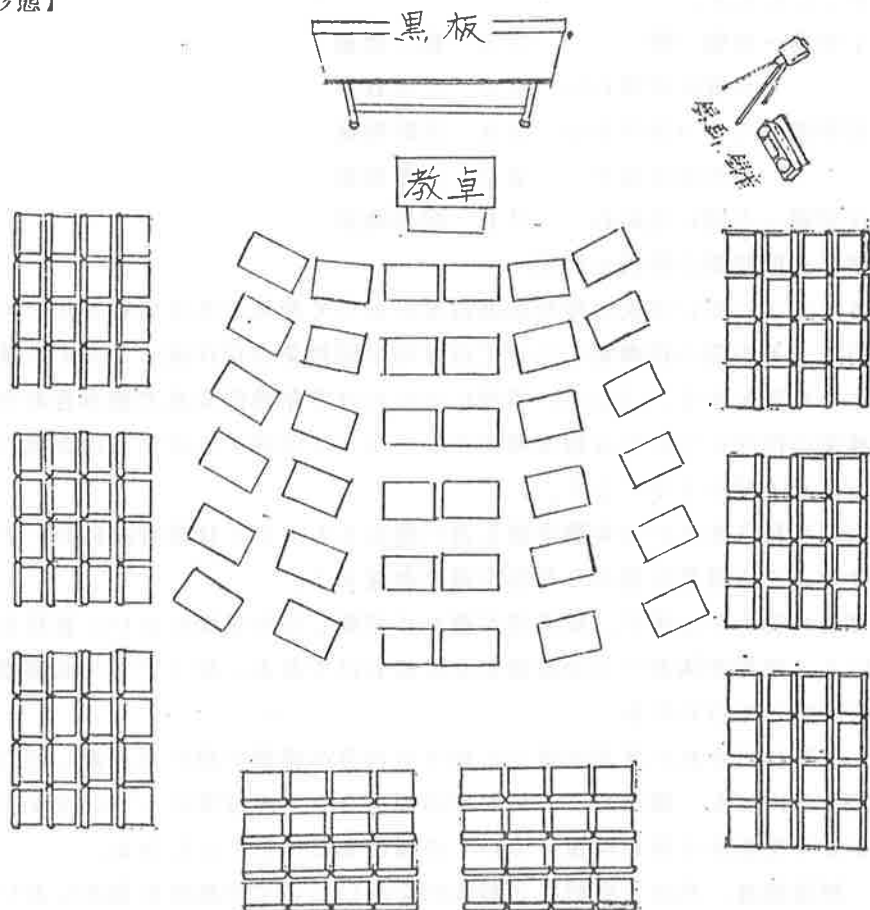
## （３）学年公開授業とねらいとの関連

（１）単に他のクラスの授業を参観するだけでなく、授業の内容に立ち入った意見発表の場が設定されていることにより

① 示範学級だけでなく全クラスが同じレベルの授業を目指さざるを得なくな

る。単なる学年内における研究授業であれば当該学級以外は特別な取組みをしなくとも済ませることができ、この形によりすべてのクラスが公開学級と同じ気持ちで取り組まざるを得なくなる。

# 【授業形態】



- ② このことは私たちに取っても緊張を要することでもあるが同時にレベルアップにもつながっていく。また生徒も同和問題学習についてすべてのクラスが同じように考えていくことができ、多くの意見を聞き考えることによって更に深い洞察や実戦への力が育まれることにつながっていくに違いない。全体での学習を設定したことは生徒も私たちもやらなければならない場へ自らを追い込むことになる。目標であるみんなが同じレベルにたって考える同和問題学習には欠くことのできない授業形態である。
- (2) 一つの資料について何度も繰返し考えざるを得ない形式にしたことによって深くじっくりと考えていくことができる。多くの資料を数多くこなすよりも一つ一つの資料を吟味し、時間をかけることによって同和問題の本質に迫ること

が可能なように思われる。一年間で全体としては5資料について考えたがそのためのクラスでの取組みは、道徳、学活を通して20時間を超えた。

- (3) 話し合い活動については正直なところ自信がなかった。まったく訓練もなくいきなり海の中に放り込んだようなものである。いわゆるオリエンテーションはまず形を整えることから入る。それに比べて学年公開授業は学年としての統一した形を示さずいきなり全体の前で内容についての話し合い、しかも高度な内容に入ったわけで形はもちろん話し合いが成立するかどうかの心配がある。そこで初めは設問を先に設定しそれについての自分の意見をまとめさせ、それを発表させるようにした。まずみんなの前で自分の意見を臆せずに発表することからスタートさせた。実演を見る中からどうすれば良いか生徒なりに考えるであろうし、教師の適切な発問によっては前置き言葉などは自然につかえるものであると思う。

◎ 学年公開授業は私たちにとっても生徒にとっても初めての経験である。受け身になることなく自分の問題として捉え積極的に取り組んでいくために、また私たち自身のモラルの高揚のためにも学級担任による説明や意識化にとどまらず学年通信を積極的に活用した。

第一回の学年公開授業を一週間後に控えた学年通信。

#### 『 2 B 学年公開授業

2年生独自の公開授業のスタートです。24日に2Bが体育館で授業を行います。それを2年生の他の学級も参観しともに考え自分たちの感想も発表していきます。いわば、2Bの授業を参考にした学年全体の授業なわけですが多数の中で堂々と自分の意見を言い、多くの意見を聞く中で自分の考えを深めていって欲しいと考えています。この一年間で2年生全学級で実施する予定ですがまず2Bが一番手を引き受けてくれました。内容は同和問題について。今回は「渋谷一〇」について考えます。2B以外のクラスも24日までに資料を担当の先生と読んで授業後の意見発表に参加できるようにしていただきます。

2Bの諸君、初めての経験だろうが初めてだからこそやりやすいという点もあると思います。思い切って臆せずやってみてください。そして2年生全体が一つの土俵の上で同和問題を考えるきっかけを作ってください。

みんなが考える同和問題についての授業のスタートです。(30号)』

『2Bのみなさん、公開授業緊張することないですよ。リラックスしてやってください。あなたたちだけの取組みじゃない。2年生全体の授業としてやります。そうはいつでも初めての形。しかし先達としての誇りと意気を持って乗り切っていく。他のクラスの人、自分たちの授業として取り組もう。(34号)』

次ページは授業後の学年通信「ねんりん」(43号)である。

The title '秋' (Autumn) is rendered in a large, bold, stylized font. The character is composed of thick, blocky strokes. In the center of the character, there is a detailed illustration of a round fruit, possibly an apple or a peach, with a small stem and a single leaf. The fruit is shaded to give it a three-dimensional appearance. The overall style is reminiscent of mid-20th-century Japanese graphic design.

字も小さく(たの)で読みづらいかも  
わかりませんが、いずり読んでみて  
下さい。